

西東京市 図書館だより

平成15年(2003年)10月5日

第11号

中央図書館
西東京市南町5-6-11
(0424)65-0823

谷戸図書館
西東京市谷戸町1-17-2
(0424)21-4545

下保谷図書館
西東京市下保谷4-3-18
(0424)21-3060

柳沢図書館
西東京市柳沢1-15-1
(0424)64-8240

芝久保図書館
西東京市芝久保町5-4-48
(0424)65-9825

ひばりが丘図書館
西東京市ひばりが丘1-2-1
(0424)24-0264

編集・発行：西東京市図書館

ホームページアドレス <http://www.library.city.nishitokyo.tokyo.jp>

「絵本と子育て事業」はじまりました

図書館で初めて取り組む「絵本と子育て事業」を、六月から開始しました。西東京市では、健康推進課による「3〜4ヶ月児健康診査」が行なわれています。この乳幼児健診は、約95%という高い受診率です。できるだけ多くの赤ちゃんを保護者の方にこの事業のメッセージをお伝えするため、健康推進課・子育て支援課・図書館が連携し、「3〜4ヶ月児健康診査」会場で健診対象の赤ちゃんを保護者に実施しています。

健診会場では、読み聞かせ講師と図書館児童サービス担当職員による、絵本と子育てについての説明や読書アドバイス、図書館利用の案内、読み聞かせの実演、絵本と絵本紹介、冊子のプレゼントを行っています。6月から9月4日までの健診で、409名の赤ちゃんを保護者の方がいらっしやいました。

当日のアンケートでは、このような声がありました。

・絵本を通して、子どもとスキンシップを取れるということ、この時期に教えてもらえてよ



った。

・絵本は大切なんだと知りました。
・ふしぎとニコニコとおとなしく見
ていました。読んでもらって、こ
んなに反応するなんて驚きです。
・どんなふう読んであげればよい
か分かってよかったです。
・アドバイス参考になりました。絵
本レビューの良いきっかけになり

ました。図書館に行ってみます。
・どんな絵本を選んでよいか参考に
なりました。

・赤ちゃんも図書館利用カードを作
れるんですね。
・上の子のときにも、このような機
会があったらよかったです。

そのほかにも、今後の図書館サー
ビス参考になるものがたくさんあり
ました。

健診会場では、つぎのような内容
をお伝えしています。

子育てに絵本が関係あるの？

赤ちゃんは、ミルクをのんで大き
くなります。同時に、赤ちゃんの心を
育むためには、たっぷりの愛情と抱
っこなどのスキンシップや優しい語
りかけが大切だといわれています。
乳幼児期から絵本に接することによ
って、赤ちゃんは豊かなことばの世
界に出会い、情操面の発達にもつな
がっていくことでしよう。子どもと
保護者が、絵本を通じた心のふれあ
いや、一緒に過ごす時間の楽しさや
大切さなどを知っていただければと
思っています。

いつから読んであげたらいいの？

赤ちゃんと一緒に読んでみようか
なと思ったときが、絶好のスタート



日よりです。読んであげてみたものの、「あら？喜ばないのかしら？」と思う時もあるでしょう。「そうだねえ。」と、赤ちゃんと会話がはずむ日もあるでしょう。赤ちゃんもその日の気分や個性もいろいろです。気が乗らないときは、また明日。又の時に、何回でも読んであげてみてください。親子でじっくり、幸せな時間を感じるときが来ることでしょう。

どんな絵本を読んだらいいの？

市内の各図書館では、たくさん絵本を用意しています。赤ちゃん絵

職場の仕事内容

一カウンター

本を貸出しを行っているカウンター。

二事務

並行して、日付帳の記入、事務用紙の整理などを行います。

三本の整理

これは、返ってきた本を元の場所に戻したり、本を整理したりする作業です。

四書庫整理

これは、書庫の中の本を、あいさつしながら、一つ一つ、丁寧に整理する作業です。



これは、本を返すための作業です。

最初の仕事のカウンター業務はとても楽しい仕事でした。それでも楽しい仕事でした。それでも返却本や貸し出しなどが多くて大変でした。

本のコーナーもあります。図書館発行の「はじめまして〜赤ちゃんにおくるえほん30冊〜」で紹介している絵本もあってあり、借りられます。よかったときは、職員にお声をかけてください。選ぶお手伝いをいたします。

赤ちゃんが、図書館で泣いたら迷惑ですよ

赤ちゃんが泣くのはあたりまえ。騒音とは違います。ただ、あまり激しい時は保護者も気を使うでしょうから、ロビーや少し外に出て様子を見るのも良いかもしれません。もちろん、赤ちゃんも西東京市民。図書館利用カードを作れます。ペビーカーで入れますので、お散歩の途中にでもご来館ください。

図書館では、赤ちゃんと保護者にこのような考えで、日常のサービスも行っています。健康会場で会えなかった赤ちゃんも、たくさん絵本に出会ってもらいたいと思います。市内で子どもの本に関わる活動をしている市民団体の協力を得て作成し



二日目、朝から書庫の整理で、すごく疲れました。でも、終わった時がすごくうれしかったです。午後は本に貼ってあるシールをカウンターでとって貼る仕事をしました。新しいシールを貼る時に、はがれなくて大変でした。



はつきり言って楽しかった。実際に職場というものを体験して社会は大変だということをも身を持って実感しました。

がんばりました！一日図書館員！

7月24日から29日の間、今年も市内各図書館で一日図書館員を実施しました。

申し込み期間前から、「一日図書館員はいつやるの？」と聞かれるほど、期待して待っていてくれる子ども。参加者は小学生63名、中学生13名。今回も多く申し込みがありました。

当日は名札とエプロンをつけ、図書館の一員に。どの仕事に取り組みるときも、子ども達の表情は真剣そのもの。みんなしっかりと働いてくれました。本の装備では、自分が装備した

た、絵本紹介冊子「はじめまして〜赤ちゃんにおくるえほん30冊〜」は、多少の残部が各図書館にあります。貸し出し用もあります。ご利用ください。

図書館協議会から

平成15年度第二回定例会報告

第二回定例会は、7月24日(木)午後2時から4時まで、中央図書館会議室で開催されました。

- ① 6月市議会定例会報告(館長)
- ② その他

(ア) 絵本と子育て事業の推進
ブックスタートも順調に進んでいる。

(イ) 7月から電話サービス実施
インターネットでのサービスに続き、自動音声で答える電話でのサービスを24時間365日稼働する。

- ① 現況諮問
 - (ア) レファレンスサービスの充実
 - (イ) 絵本と子育て事業
 - (ウ) 障害者サービス資料の整備
 - (エ) 施設の整備
- ② 今後の活動
 - 図書館長期計画の策定(リニューアル、新中央図書館構想)

本が書棚に並ぶということ、失敗しないようにと、作業を進める手はとても慎重でした。

直接利用者と接するカウンターでの貸出と返却。子ども達は最初少し緊張気味でしたが、すぐに慣れ、特に本についているバーコードをなぞるのがとても楽しい



- ③ 日程
 - 第三回定例会 10月23日
 - 第四回定例会 1月22日
- ④ 視察見学
 - 現状を知る事が、まず必要であると、8月7日西東京市内全図書館と11月19日他図書館を視察する事に決定しました。

(報告 清水八千代)



職場体験学習

例年、夏休みの前後に、図書館では、中学生の職場体験学習の受入をしています。市内各図書館で中学生たちが、カウンターで手伝っている姿を見かけられただけではないでしょうか。

中学生たちが、おとなの社会を垣間見、ほんの一部でも現場の仕事を経験することで、将来の職業を選ぶ時に役立てられることを願っています。西東京図書館はこれからも体験学習の応援をしていきたいと考えています。今回は芝久保図書館での生徒の感想などを紹介します。



ようでした。利用者には「ありがとう。がんばってね」と言われると、少し照れながらも、うれしそうに笑顔を浮かべていました。次から次へと返却される本を抱えて、書棚の間を休む間もなく歩き回り、どの子どもも一生懸命でした。

最後に書いた感想文には、「楽しかった」「図書館にはこんな仕事もあったんだと知りました」「大きくなったらやりたい仕事です」等等…。

この日が、夏休みの楽しい思い出のひとつになってくれたらうれしく思います。参加してくれたみんな、本当にお疲れ様でした。

おはなしボランティア

入門講座

子ども達の豊かな心を育てるためには、耳から物語を楽しむ事もよい経験です。あなたもおはなしの語り手になってみませんか？

場所：ひばりが丘図書館講座室

講師：もぐらの会会員

日時：10/23(木) 10/30(木)

10時30分～12時30分

11/20(木)

10時00分～13時00分

要申込・10月10日(金)まで定員20名
※3回通して参加できる方
詳細は、図書館カウンターのちらしをご覧ください。
もぐらの会・西東京市図書館共催

西東京市図書館主催

講演会のお知らせ

講師 近辻宏婦(ちかつじ・こうき)氏

(元佐渡トキ保護センター長)

講演 「トキく永遠なる飛翔」

日時 平成十五年十月二十五日(土)

午後2時～3時30分

場所 田無公民館 3階 視聴覚室

受付は1時30分から

先着順70名の予定

近辻宏婦氏は西東京市のご出身です。

中学、高校、大学を通じて野鳥の調査・保護・研究に携わられました。早稲田大学卒業後、新潟県職員としてトキ保護事業に取り組み、その業績は、NHK「プロジェクトX挑戦者たち」でも紹介されました。トキの人口増殖と野生復帰に挑む日々をお話しいただきます。

問合せ先：中央図書館65-0823

「夏休みすいせん図書」の利用状況を「報告」します。

まず、グレードごとによく読まれた本を紹介します。

1・2年生では『あおい目のこねこ』と『こいぬのうんち』です。『あおい目のこねこ』は、1965年出版の古い作品ですが、ユーモラスな絵と内容で、長く読みつがれています。『こいぬのうんち』は、子どもの好きなうんちを題材にした韓国の絵本で、うんちの存在価値を問う絵本です。

3・4年生では『天使のかいかた』と『そばかすイエシ』です。『天使のかいかた』は、ピンクの表紙にかわいい天使の絵が描かれていて、内容も楽しい作品です。『そばかすイエシ』は、とつびなことを思いつくドイツの小学生イエシがまきおこす騒動を楽しく描いた作品です。

5・6年生では『わたしのいもうと』と『世界が見える地図の絵本』です。『わたしのいもうと』は、はじめをテーマにした絵本で、1987年の出版ですが、多くの子どもたちに紹介し、人の命の大切さを考えてほしい作品でした。『世界が見える地図の絵本』は、立体感あふれるイラストを多用し、今までとは違った切り口で、世界を紹介する絵本です。

中学生では『絵本パラギ』と『葡萄酒のノート』です。『絵本パラギ』は「はじめて文明を見た南の島の酋長ツイアビが話したこと」という副題がついていますが、その内容は今も新鮮に感じられ、大人が読んでも楽しめる作品です。『葡萄酒のノート』は戦前韓国に渡った少女から現在14歳の少女まで5人の十代の少女の手記の形で、韓国と日本の関係を考えさせられる作品です。

昨年はノンフィクションが振るわず、ファンタジー系が人気でしたが、今年はノンフィクションもよく読まれました。また、全体的に少し前の作品が目立ち、新しい読者を獲得しようです。貸出回数だけを比較すると、低・中学年が昨年より減少しているの、また来年に向けて、楽しい本を子どもたちに紹介できるような、いろいろな作品を発掘していきたいと思っています。

今年、すいせん図書のリストを市内の小・中学校に配布するのが早

くなったため、リストを手にした子どもたちが、例年より早く来館しました。また、予約も特定の作品に集中したため、やむを得ないことですが、めあての本がいつも書架にないという状況が各図書館で見られました。来年の課題にしたいと思います。

『図書館電話サービス』の利用状況をお知らせします。

7月、8月の予約提供数は、46,714件ありました。

内訳は、『電話サービス』の利用が4,791件あり、平均所要時間一回2分となっております。予約状況の確認には2,923件、返却期限の延長には730件のアクセスがありました。また、『メール』の予約連絡は15,769件、『不要』が14,144件となりました。

夏休みは図書館の繁忙期ですが、予約連絡にかかる作業時間が軽減され、その時間を、子どもたちの調べものお手伝いをすることができました。まだ利用されていない方は、ぜひ、ご利用ください。

お知らせ

市民の方々の読書活動の援助として、団体貸出のサービスや、参考資料のご紹介も行っておりますのでご利用ください。